

奥州・北上・金ヶ崎・西和賀定住自立圏

(愛称) 日高見の国定住自立圏

共生ビジョン



平成27年10月 策定

平成29年3月 第1回変更

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1.	定住自立圏の概要	1
2.	これまでの取組み	1
3.	定住自立圏の名称及び構成市町	1
4.	定住自立圏共生ビジョンの目的	1
5.	定住自立圏共生ビジョンの期間	1

第2章 圏域の概況

1.	圏域市町の概況	2
2.	人口等の推移	4
	(1) 人口の推移	4
	(2) 世帯数の推移	4
	(3) 年齢3区分別の推移	4
3.	産業別就業者数の推移	5
4.	都市機能の集積状況	6
5.	都市機能の利用状況	8
	(1) 通勤・通学者の状況	8
	(2) 医療機関の利用状況	9
	(3) 商業機能の利用状況	10

第3章 圏域の将来像

(1)	基本認識	11
(2)	圏域の将来像	11

第4章 具体的取組み

	定住自立圏共生ビジョンの体系図	12
1.	生活機能の強化	
	(1) 医療	13
	(2) 福祉	16
	(3) 教育	21
	(4) 産業振興	22
	(5) 防災・消防	30
	(6) その他生活機能の強化に関する取組	33
2.	結びつきやネットワークの強化	
	(1) 地域公共交通	37
	(2) 公共施設の相互利用	38
	(3) 地域内外の住民との交流促進	39
3.	圏域マネジメント能力の強化	
	(1) 人材育成	42
4.	重要業績評価指標	44

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1. 定住自立圏の概要

我が国は、今後、総人口の減少及び少子化・高齢化の進行が見込まれています。今後は、三大都市圏でも人口減少が見込まれますが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子・高齢化が見込まれています。

また、人口が総じて減少することから、住民税をはじめとした税収の減少により、地方財政はひっ迫し、基礎自治体が単独でフルセットの行政機能を確保することは困難になると予想されています。

定住自立圏構想は、このような状況を踏まえ、圏域の中心的な役割を担う中心市と圏域市町村が、相互の自主性と自立性を尊重しながら役割分担し、連携・協力することによって、地域住民のいのちと暮らしを守るため、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策であり、中長期的視点に立った新たな広域連携の取組みです。

2. これまでの取組み

本圏域の定住自立圏構想の推進にあたっては、平成26年8月に奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町において定住自立圏構想に係る勉強会を開催し、検討してまいりました。

平成27年2月には、関係市町長会議において、定住自立圏構想を進めることを決定し、関係市町において具体的連携事項についての検討を開始しました。

そして、同年7月17日に関係市町長会議を開催し、中心市要件を満たす奥州市と北上市が共同で、中心となってこの構想を進めていくことを確認するとともに、構想の基本的な考え方について合意形成が図られました。その結果、同年7月29日に奥州市と北上市が共同中心市宣言を行いました。

定住自立圏形成協定について各市町議会の議決を経て、同年9月28日に奥州市及び北上市と金ケ崎町、西和賀町それぞれとの間で、定住自立圏形成協定を締結しました。

3. 定住自立圏の名称及び構成市町

(1) 定住自立圏の名称

奥州・北上・金ケ崎・西和賀定住自立圏（愛称：日高見の国定住自立圏）

(2) 定住自立圏の構成市町

奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町

4. 定住自立圏共生ビジョンの目的


本共生ビジョンは、定住自立圏推進要綱(平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知)第6の規定により、圏域の将来像や協定に基づき圏域市町村が連携して推進する具体的な取組み内容を明らかにするものです。


5. 定住自立圏共生ビジョンの期間


本共生ビジョンの期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。


第2章 圏域の概況

1. 圏域市町の概況

	奥州市	人口：124,746 人 面積：993.30 k㎡	【特産品・グルメ】 南部鉄器、岩谷堂箆笥、増沢塗、米、前沢牛、りんご、ピーマン、りんどう、ハトムギ・ハトムギ加工品、岩谷堂羊羹、卵麺、とろろうどん、奥州はっと など
奥州市は、市の中央を北上川が流れており、その西側には胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっています。焼石岳を主峰とする西部地域の焼石連峰には、ブナの原生林が多く残されているほか、北上川東側には、北上山地につながる田園地帯が広がり、市全域が緑あふれる豊かな自然に恵まれています。			【観光名所】 黒石寺、正法寺、えさし藤原の郷、胆沢ダム、種山高原、東北ニュージーランド村 など
また、稲作を中心とした複合型農業により県内屈指の農業地帯となっているほか、交通の利便性の良さを背景に商業集積や工業団地の整備が進み、南部鉄器や岩谷堂箆笥などの伝統産業とともに基幹産業の事業展開が図られております。			【市町村内純生産：H24】 273,585,289 千円
ふるさと奥州の素晴らしさを見直しながら、「市民、団体、事業者などとともにすすめる協働のまちづくり」、「行財政の効率化と施策の効果的な展開」に取組み、「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち奥州市」の実現を目指しています。			【普通会計決算額：H24】 歳入：68,989,888 千円 歳出：68,212,099 千円

	北上市	人口：93,138 人 面積：437.55 k㎡	【特産品・グルメ】 さといも、りんご、きたかみ牛、北上コロッケ、グリーンアスパラガス、せり、桑茶 など
北上市は、北上川と和賀川が合流する肥よくな土地に美しい田園地帯が広がり、西に奥羽、東に北上山系の美しい山々が連なる豊かな自然に恵まれています。			【観光名所】 展勝地公園、夏油温泉、みちのく民俗村、夏油高原スキー場 など
古くから交通の要衝として栄え、国道4号、JR東北本線の南北幹線と、国道107号、JR北上線の東西幹線が交差するほか、東北縦貫自動車道、東北新幹線などの高速交通体系も整備され、首都圏と2時間30分、日本海とは1時間30分で結ばれるなど、北東北の十字路として利便性が高まっています。			【市町村内純生産：H24】 233,680,768 千円
現在の北上市は、旧北上市、和賀町、江釣子村の3市町村合併により平成3年4月1日に誕生しました。人口は順調に増加し平成9年末には9万人に到達。農業出荷額・工業出荷額とも県下有数の集積をもつ、活気ある都市として注目を集めています。			【普通会計決算額：H24】 歳入：35,623,638 千円 歳出：34,241,944 千円

	<p>金ヶ崎町</p>	<p>人口：16,325 人 面積：179.77 k m²</p>	<p>【特産品・グルメ】 アスパラガス、ずるびき膳、金が咲バーガー、大吟醸「宗任」、奥州牛、金が咲クッキー、黄金まんじゅう、すがっこ漬け など</p>
<p>金ヶ崎町は、岩手県南西内陸部に位置し、県内最大級の工業団地「岩手中部（金ヶ崎）工業団地」を有し、工業出荷額は 5,846 億円（H24 工業統計）で県内 1 位となっています。</p>			<p>【観光名所】 国選定「城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区」、国指定史跡「鳥海柵跡」、金ヶ崎要害歴史館、千貫石森林公園、岩手県立花きセンター、和光展望台 など</p>
<p>国選定の金ヶ崎町城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区、国指定史跡の鳥海柵跡といった文化財があります。同柵は、安倍宗任の柵とされ、奥州藤原氏の初代となった藤原清衡の叔父で、娘は二代基衡の妻であり、三代秀衡の母親であることから、世界遺産登録となった平泉文化は安倍一族と深い繋がりがあります。</p>			<p>【市町村内純生産：H24】 81,891,718 千円</p>
<p>まちの将来像に「人と地域が支えあうまち 金ヶ崎」を掲げ、6つの基本目標と「自然保護プロジェクト」、「元気100歳プロジェクト」など5つの重点プロジェクトを立ち上げ、“6つの目標5つのエンジン”で各施策を展開しています。</p>			<p>【普通会計決算額：H24】 歳入：9,142,764 千円 歳出：8,940,637 千円</p>

	<p>西和賀町</p>	<p>人口：6,602 人 面積：590.78 k m²</p>	<p>【特産品・グルメ】 西わらび、りんどう、牛乳・乳製品、舞茸、山菜・きのこ加工品、銀河高原ビール、ビスケットの天ぷら、スッポン など</p>
<p>西和賀町は、岩手県の南西部にあつて秋田県に接し、北には国の自然環境保全地域指定の和賀岳、南には栗駒国定公園内に南本内岳がそびえ、錦秋湖周辺は湯田温泉峡県立自然公園に指定されるなど、豊かな自然と豊富な水資源に恵まれた地域です。</p>			<p>【観光名所】 和賀岳、真昼岳、南本内岳、女神山、錦秋湖、下前風景林、真昼山系滝群、カタクリ群生地、弁天島、碧祥寺博物館、深澤晟雄資料館 など</p>
<p>恵まれた美しい自然環境の中、「人が輝き地域の力満ちる町」を町の将来像とし、安全・安心な食の生産と提供が出来る循環型農林業の振興、温泉の多面的な癒しの効果を活用した観光振興と健康教育など、「産業」「環境」「健康」をキーワードとし、住民一人ひとりが健康で安全・安心な生活をするに価値を見だし、訪れる人には心と体の安らぎを提供できるまちづくりを目指しています。</p>			<p>【市町村内純生産：H24】 15,448,501 千円</p>
			<p>【普通会計決算額：H24】 歳入：7,175,213 千円 歳出：6,855,804 千円</p>

2. 人口等の推移

※2005年（平成17年）以前の各市町数値は、合併前市町村を合算した数値。

(1) 人口の推移

圏域全体の人口は、平成12年をピークに減少傾向にあります。市町別にみると、奥州市・西和賀町は減少傾向が顕著であるが、その他市町は、横ばい傾向となっております。

表 人口の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7～22年）	
					増減	増減率
奥州市	133,228	133,056	130,171	124,746	▲8,482	▲6.4%
北上市	87,969	91,501	94,321	93,138	5,169	5.9%
金ケ崎町	15,923	16,383	16,396	16,325	402	2.5%
西和賀町	8,594	7,983	7,375	6,602	▲1,992	▲23.2%
合計	245,714	248,923	248,263	240,811	▲4,903	▲2.0%

出展：国勢調査（総務省統計局）

(2) 世帯数の推移

圏域全体の世帯数は増加傾向にあります。市町別にみると、北上市、金ケ崎町、奥州市は増加傾向ですが、西和賀町は減少傾向となっております。

表 世帯数の推移

単位：世帯

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7～22年）	
					増減	増減率
奥州市	38,620	40,651	41,369	41,308	2,688	7.0%
北上市	28,247	31,023	33,629	34,068	5,821	20.6%
金ケ崎町	4,543	4,921	5,228	5,398	855	18.8%
西和賀町	2,640	2,443	2,393	2,272	▲368	▲13.9%
合計	74,050	79,038	82,619	83,046	8,996	12.1%

出展：国勢調査（総務省統計局）

(3) 年齢3区分別の推移

全ての市町において、年少人口（15歳未満）が減少し、老年人口（65歳以上）が増加しています。圏域全体でみると平成7年から老年人口が年少人口を上回っており、少子高齢化が進行しています。

表 年少人口（15歳未満）の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7-22年）	
					増減	増減率
奥州市	21,899	19,769	17,998	15,966	▲5,933	▲27.1%
北上市	15,328	14,657	14,384	13,544	▲1,784	▲11.6%
金ケ崎町	2,603	2,455	2,281	2,138	▲465	▲17.9%
西和賀町	1,269	1,000	738	595	▲674	▲53.1%
合計	41,099	37,881	35,401	32,243	▲8,856	▲21.5%

出展：国勢調査（総務省統計局）

表 生産年齢人口（15～64歳）の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7-22年）	
					増減	増減率
奥州市	84,882	81,757	77,170	72,529	▲12,353	▲14.6%
北上市	58,509	59,786	60,303	58,248	▲261	▲0.4%
金ケ崎町	10,273	10,302	10,026	9,907	▲366	▲3.6%
西和賀町	5,039	4,287	3,736	3,170	▲1,869	▲37.1%
合計	158,703	185,160	151,235	143,854	▲14,849	▲9.4%

出展：国勢調査（総務省統計局）

表 老年人口（65歳以上）の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7-22年）	
					増減	増減率
奥州市	26,447	31,502	34,945	36,075	9,628	36.4%
北上市	14,132	16,838	19,274	20,771	6,639	47.0%
金ケ崎町	3,047	3,626	4,082	4,245	1,198	39.3%
西和賀町	2,286	2,696	2,901	2,837	551	24.1%
合計	45,912	54,662	61,202	63,928	18,016	39.2%

出展：国勢調査（総務省統計局）

3. 産業別就業者数の推移

全ての市町において、第1次産業就業者数が減少しており、第2次産業就業者数も平成12年以降は減少しております。さらに、第3次産業就業者数は平成17年以降減少傾向となっております。

※2005年（平成17年）以前の各市町村値は、合併前市町村を合算した数値。

表 第1次産業就業者数の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7-22年）	
					増減	増減率
奥州市	16,636	13,890	12,839	9,780	▲6,856	▲41.2%
北上市	5,695	4,840	4,162	3,165	▲2,530	▲44.4%
金ケ崎町	2,462	2,031	1,873	1,442	▲1,020	▲41.4%
西和賀町	1,288	1,182	1,080	888	▲400	▲31.1%
合計	26,081	21,943	19,954	15,275	▲10,806	▲41.4%

出展：国勢調査（総務省統計局）

表 第2次産業就業者数の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7-22年）	
					増減	増減率
奥州市	23,619	23,141	19,250	16,623	▲6,996	▲29.6%
北上市	20,212	20,316	18,595	16,253	▲3,959	▲19.6%
金ケ崎町	3,105	3,252	2,974	2,828	▲277	▲8.9%
西和賀町	1,726	1,257	926	726	▲1,000	▲57.9%
合計	48,662	47,966	41,745	36,430	▲12,232	▲25.1%

出展：国勢調査（総務省統計局）

表 第3次産業就業者数の推移

単位：人

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	増減（平成7-22年）	
					増減	増減率
奥州市	35,066	36,411	36,741	33,706	▲1,360	▲3.9%
北上市	22,208	24,482	25,367	24,747	2,539	11.4%
金ケ崎町	3,491	3,841	3,962	3,801	310	8.9%
西和賀町	1,943	1,912	1,859	1,701	▲242	▲12.5%
合計	62,708	66,646	67,929	63,955	1,247	2.0%

出展：国勢調査（総務省統計局）

4. 都市機能の集積状況

奥州市及び北上市における医療、教育・文化、その他行政及び民間分野における主な都市機能の集積状況は次のとおりです。

分野	都市機能	奥州市	北上市
医療	公的医療機関	県立胆沢病院 奥州市総合水沢病院	県立江刺病院 奥州市まごころ病院 北上市済生会病院
	初期救急医療機関	(休日当番医制により実施)	(在宅当番医制により実施)
	二次救急医療機関	(病院群輪番制により実施)	(病院群輪番制により実施)

教育・文化	大 学 (関係機関)	岩手大学工学部附属鑄造技術研究センター ほか	岩手大学工学部附属金型技術研究センター
	高等学校	県立水沢高等学校ほか7校	県立黒沢尻北高等学校ほか3校
	小・中学校	小学校27校、中学校12校	小学校17校、中学校9校
	幼稚園	19園	10園
	文化会館	Zホール ほか	さくらホール
	体育施設	水沢公園陸上競技場 奥州市総合体育館 ほか	北上陸上競技場 北上総合体育館 ほか
	図書館	水沢図書館 江刺図書館 前沢図書館 胆沢図書館 ほか	中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館
	都市公園	水沢公園 江刺カルチュアパーク ほか	展勝地公園 和賀川ふれあい広場 ほか
福祉	特別養護老人ホーム	18施設	5施設
	介護老人保健施設	5施設	4施設
	介護療養医療施設	1施設	2施設
	居宅介護支援事業者	45事業者	20事業者
	訪問介護事業者	21事業者	19事業者
	障がい者グループホーム	36事業所	11事業所
	就労継続支援B型事業所	11事業所	7事業所
	児童福祉施設	保育所26 認定こども園7	保育所17 認定こども園2
交通	鉄道駅	水沢江刺駅、水沢駅、陸中折居駅 前沢駅	北上駅、村崎野駅、柳原駅、江釣子駅、藤根駅、 立川目駅、横川目駅、岩沢駅、和賀仙人駅
	路線バス	岩手県交通 奥州市営バス 東磐交通 奥州市コミュニティバス	岩手県交通 北上市コミュニティバス
	国道	4号、107号、343号、397号、456号	4号、107号、456号
	高速道路IC	水沢IC 平泉前沢IC	北上江釣子IC 北上金ケ崎IC 北上西IC
商業	大規模小売店 (3,000㎡以上)	16施設	13施設
行政機関	国の機関	水沢公共職業安定所 水沢税務署 盛岡地方法務局水沢支局 水沢区検察庁 岩手河川国道事務所水沢出張所 ほか	北上公共職業安定所 岩手南部森林管理署 東北農政局和賀中部農業水利事務所 自衛隊岩手地方協力本部北上地域事務所 ほか
	県の機関	県南広域振興局 県南家畜保健衛生所 県立緑化センター 水沢警察署 江刺警察署 ほか	企業局県南施設管理所 下水道公社県南支社 いわてデジタルエンジニア育成センター 生物工学研究所 北上警察署 ほか

5. 都市機能の利用状況

次のとおり、通勤・通学、医療、商業など、日常生活において、奥州市及び北上市に集積されている都市機能が、周辺にある市町の住民に利用されています。

(1) 通勤・通学者の状況

奥州市及び北上市へは、近隣市町から多くの通勤・通学者があり、産業と教育の中心的な役割を果たしています。

① 近隣市町から奥州市への通勤・通学者

単位：人

市町名	通勤者数	通学者数	通勤・通学者合計
北上市	1,725	101	1,826
金ヶ崎町	1,756	227	1,983
西和賀町	9	2	11
合計	3,490	330	3,820

(出典：平成22年国勢調査)

② 近隣市町から北上市への通勤・通学者

単位：人

市町名	通勤者数	通学者数	通勤・通学者合計
奥州市	2,894	242	3,136
金ヶ崎町	1,224	116	1,340
西和賀町	227	34	261
合計	4,345	392	4,737

(出典：平成22年国勢調査)



(2) 医療機関の利用状況

奥州市及び北上市に立地する病院は、広く近隣市町の住民に利用されており、医療の中心的な役割を果たしています。

① 胆江地区病院群輪番制の実績

単位：人

市町名	来院方法		計
	救急車	その他	
金ヶ崎町	106	137	243
西和賀町	0	1	1
合計	106	138	244

(資料：奥州市（平成25年度実績）)

② 岩手中部地区病院群輪番制の実績

単位：人

市町名	来院方法		計
	救急車	その他	
金ヶ崎町	17	100	117
西和賀町	14	21	35
合計	31	121	152

(資料：北上市（平成25年度実績）)

※ 病院群輪番制とは、地域内の病院群が共同連帯して、輪番制方式により休日・夜間等における重症救急患者の診療を受け入れる体制のことをいいます



(3) 商業機能の利用状況

奥州市及び北上市には、大規模小売店などの商業施設が多く立地しており、広く近隣市町の住民に利用されており、商業の中心的な役割を果たしています。

近隣市町からの奥州市、北上市への消費者購買実態（品目総合）

市町名	地元購買率	流出率		
		奥州市	北上市	その他
奥州市	91.2%		3.8%	5.0%
北上市	93.8%	0.4%		5.8%
金ヶ崎町	69.8%	18.3%	9.8%	2.1%
西和賀町	57.7%	-	12.4%	29.9%

(資料：平成20年度岩手県広域消費購買動向調査結果報告書)



第3章 圏域の将来像

(1) 基本認識

我が国は本格的な人口減少社会の到来を迎え、地方圏では大幅な人口減少と急激な少子高齢化が進んでおります。また、長引く日本経済の低迷、産業や経済のグローバル化の進展や地方分権の推進、加えて厳しい財政状況など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化し、今まさに厳しい局面を迎えており、地域が互いに知恵を出し、創意工夫しながら自主的、自立的な地域づくりを進めることが強く求められております。

本圏域における取組は、数年先の成果を求めるものではなく、10年、20年先を見据え、中心市である奥州市、北上市と圏域を構成する金ケ崎町、西和賀町との連携により、人口定住に必要な都市機能・生活機能を確保するもので、持続可能な地域づくりのための第一歩となるものです。

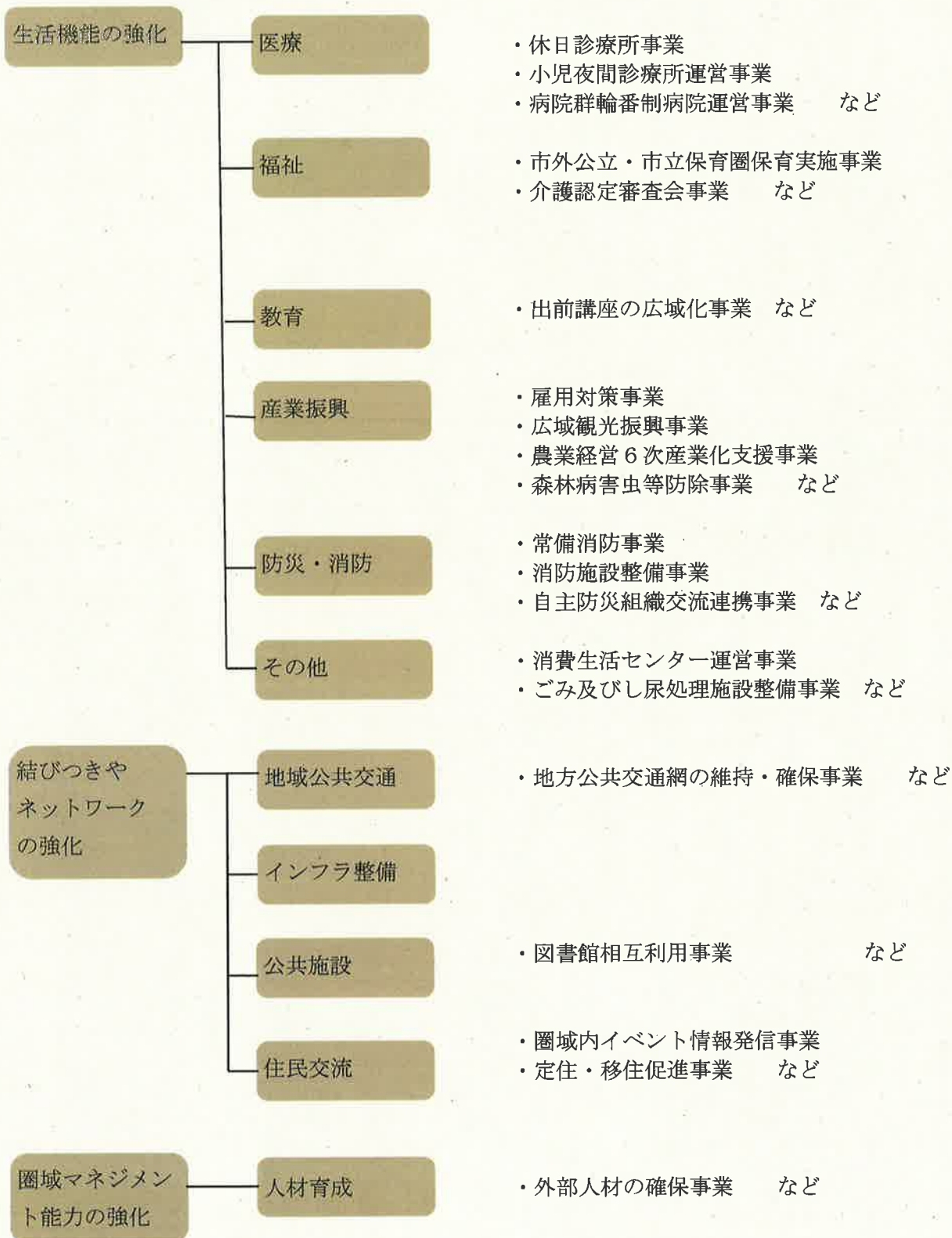
(2) 圏域の将来像

本圏域は、北部は花巻市、南部は一関市、東部は遠野市・住田町、西部は秋田県に接し、圏域面積が2,201.40 km²に及び、東京都の面積に匹敵する非常に広大な圏域です。広大な圏域であるため、各市町それぞれの抱える課題も多種多様です。一方で、この広大な圏域は、豊かで、多様な文化、自然、風土に恵まれ、圏域を形成する上で、大きな強みになるものと期待されています。

美しい郷土に生まれ、生きる、人々の生活の営みを守っていくことは、圏域市町に共通する使命であり、そのためには、今まさに、地域力の結集が何よりも重要です。

このことを踏まえ、奥州・北上・金ケ崎・西和賀定住自立圏では、互いの自主性と自立性を尊重しつつ、これまで築き上げてきた絆をより一層深め、先人たちが永い歴史の中で育み、現代に引き継いできた豊かな自然環境と産業の調和した魅力あるこの圏域を将来世代に引き継いでいくため、圏域全体の活性化を目指すものです。

定住自立圏共生ビジョンの体系図



1. 生活機能の強化

(1) 医療

【協定の内容】

① 地域医療体制の充実

取組内容	切れ目のない医療を適切に提供できるよう、救急医療や高度医療を担う中核病院と圏域内の各病院や診療所の役割分担と機能、連携の強化を促進し、地域医療体制の充実を図る。
奥州市・北上市の役割	中核病院、診療所等の医療機能の維持、充実に努めるとともに、各医療機関との連絡調整を行い、圏域内の医療機関の役割分担と機能、連携の強化を促進し、金ヶ崎町・西和賀町や関係機関と連携して地域医療体制の充実に取り組む。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	各医療機関との連絡調整を行い、圏域内の医療機関の役割分担と機能、連携の強化を促進し、奥州市・北上市や関係機関と連携して地域医療体制の充実に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	休日診療所事業					
関係市町	奥州市、金ヶ崎町					
内容	胆江医療圏の日曜、祝祭日における一次医療を確保する。					
効果	二次医療機関への患者集中が緩和される。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	→
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	15,516	15,516	15,516	15,516	15,516	77,580
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	小児夜間診療所運営事業					
関係市町	奥州市、金ヶ崎町					
内容	胆江医療圏における夜間の小児医療を確保する。					
効果	小児科医の負担軽減が図れる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	11,599	11,599	11,599	11,599	11,599	57,995
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	病院群輪番制病院運営事業					
関係市町	奥州市、金ヶ崎町					
内容	胆江管内の大規模病院が共同・連帯して、輪番制により休日夜間の救急患者に対応する。					
効果	胆江医療圏における重症患者への二次医療を確保する。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	4,725	4,725	4,725	4,725	4,725	23,625
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	岩手中部地域病院群輪番制					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	県立中部病院、県立遠野病院、北上済生会病院、総合花巻病院、花巻温泉病院の5ヶ所の輪番制で、毎日の夜間、土曜日の午後と夜間、日曜日の日中の救急患者に対応する。					
効果	岩手中部地域における重症患者への二次医療を確保する。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	7,486	7,448	7,448	7,448	7,448	37,278
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

(2) 福祉

【協定の内容】

① 子育て支援サービスの充実

取組内容	圏域全体の子育て環境の向上のため、子育て支援に関するサービスの充実を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、子育て支援に関する情報を共有するとともにサービスを充実させ、相互利用の推進を図り、圏域全体の子育て環境の向上に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、子育て支援に関する情報を共有するとともにサービスを充実させ、相互利用の推進を図り、圏域全体の子育て環境の向上に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	私立・公立保育園保育実施事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	市町外私立・市立保育園への入所希望があった場合、委託先市町と入所に関し協議し、円滑な事業推進に努める。					
効果	安心して子どもを育てることができる環境整備が図れる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	71,036	71,036	71,036	71,036	71,036	355,180
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。)					

【具体的な事業】

事業名	私立・公立認定こども園、幼稚園施設型給付事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	市町外私立・公立認定こども園及び幼稚園への入所希望があった場合、委託先市町と入所に関し協議し、円滑な事業推進に努める。					
効果	安心して子どもを育てることができる環境整備が図れる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	14,845	14,845	14,845	14,845	14,845	74,225
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

② 認定審査会業務の連携

取組内容	介護認定審査、障がい支援区分認定審査の公平性、効率性を確保するため、認定審査業務を共同で実施する。
奥州市・北上市の役割	介護認定審査会、障がい支援区分認定審査会を金ヶ崎町・西和賀町と共同で設置し、運営に必要な経費を負担する。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	介護認定審査会、障がい支援区分認定審査会を奥州市・北上市と共同で設置し、運営に必要な経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	介護認定審査会事業					
関係市町	奥州市、金ヶ崎町					
内容	介護が必要な高齢者が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護の認定を行う認定審査業務について、共同で審査会を設置する。					
効果	審査の公平性と審査会の効率的な運営が図られる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	44,318	44,318	44,318	44,318	44,318	221,590
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	介護認定審査会事業					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	介護が必要な高齢者が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護の認定を行う認定審査業務について、共同で審査会を設置する。					
効果	審査の公平性と審査会の効率的な運営が図られる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	15,251	15,251	15,251	15,251	15,251	76,255
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	障がい支援区分認定審査会事業					
関係市町	奥州市、金ヶ崎町					
内容	障害者総合支援法に基づく障がい程度区分認定業務について、共同で審査会を設置する。					
効果	審査の公平性と審査会の効率的な運営が図られる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	3,593	3,593	3,593	3,593	3,593	17,965
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	障がい支援区分認定審査会事業					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	障害者総合支援法に基づく障がい程度区分認定業務について、共同で審査会を設置する。					
効果	審査の公平性と審査会の効率的な運営が図られる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	2,572	2,245	2,245	2,245	2,245	11,552
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

(3) 教育

【協定の内容】

① 生涯学習機会の充実

取組内容	圏域住民の生涯学習を推進するため、生涯学習機会の充実を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、生涯学習に関する情報共有を行うとともに相互利用を推進するなど、生涯学習機会の充実に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、生涯学習に関する情報共有を行うとともに相互利用を推進するなど、生涯学習機会の充実に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	出前講座の広域化事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	圏域内の住民が広く参加できる体制をつくることにより、学習機会の充実を図る。					
効果	教養や能力の向上を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—	→				
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	—	→				
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

(4) 産業振興

【協定の内容】

① 産業の活性化

取組内容	雇用対策や人材育成などに努めるとともに、既存産業の振興のほか新たな産業集積を推進し、圏域内の産業の活性化を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、雇用対策や人材育成に努めるほか、勤労者の福利厚生の実施や企業間の交流、連携を推進し、産業の活性化に取り組む。また、相互に連携してILC誘致を推進するなど、新たな産業集積に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、雇用対策や人材育成に努めるほか、勤労者の福利厚生の実施や企業間の交流、連携を推進し、産業の活性化に取り組む。また、相互に連携してILC誘致を推進するなど、新たな産業集積に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	雇用対策事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	新入社員セミナー、高校教師との就職対策連絡会議、就職情報交換会、就職面接会等を広域圏域で実施する。					
効果	労働力の確保と労働者の定着を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【具体的な事業】

事業名	胆江地区勤労者福祉サービスセンター運営事業					
関係市町	奥州市、金ケ崎町					
内容	中小企業勤労者の総合的な福祉事業を行っている胆江地区勤労者福祉サービスセンターの運営を支援し、中小企業勤労者に充実した福利厚生事業を提供することにより、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与する。					
効果	中小企業勤労者の福利厚生を充実させることで、地元就職希望者の増加に資する。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	12,225	11,087	11,087	11,087	11,087	56,573
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	北上地区勤労者福祉サービスセンター運営事業					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	中小企業勤労者の総合的な福祉事業を行っている北上地区勤労者福祉サービスセンターの運営を支援し、中小企業勤労者に充実した福利厚生事業を提供することにより、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与する。					
効果	中小企業勤労者の福利厚生を充実させることで、地元就職希望者の増加に資する。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	10,464	10,464	10,464	10,464	10,464	52,320
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	工業匠祭事業費補助金					
関係市町	北上市、金ヶ崎町					
内容	企業間の交流や連携及び次代を担う子どもたちのものづくりへの関心を高めることを目的として北上工業クラブが開催するイベントに共催する。					
効果	企業間交流、連携の促進による工業振興及び次代を担う人材育成					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	5,000	0	5,000	0	5,000	15,000
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

② 広域観光の推進

取組内容	観光資源を活かした広域的な観光ルートを設定し、情報発信を行うなど、圏域全体で観光客の誘客を図る。
奥州市・北上市の役割	観光資源を掘り起こし、情報共有を行うとともに、金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携して情報発信し、観光客の誘客に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	観光資源を掘り起こし、情報共有を行うとともに、奥州市・北上市や関係機関と連携して情報発信し、観光客の誘客に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	広域観光振興事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	圏域の観光資源を体系化するとともに、連携しながら、おもてなし観光の推進を行う。					
効果	交流人口の拡大とともに、圏域のPRを図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—	→				
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	—	→				
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【具体的な事業】

事業名	北上・西和賀観光連絡協議会負担金					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	観光物産 PR 事業や観光パンフレットの作成などを行い、北上・西和賀地域の観光・物産事業の振興を図る。					
効果	観光客誘客と特産品の育成販路拡大					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	720	720	720	720	720	3,600
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

③ 特産品の販路拡大

取組内容	特産品に関する情報を共有し、相互連携による販路拡大を図る。
奥州市・北上市の役割	農産物をはじめとした特産品に関する情報を共有するほか、農家の6次産業化の取組を支援するなど付加価値の高い商品の開発を推進し、金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携して販路拡大に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	農産物をはじめとした特産品に関する情報を共有するほか、農家の6次産業化の取組を支援するなど付加価値の高い商品の開発を推進し、奥州市・北上市や関係機関と連携して販路拡大に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	農業経営6次産業化支援事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	<p>圏域の地元特産品の情報共有を図り、圏域内外でのイベント、物産展において、協働して取り組むことにより、販路拡大に向けたPRなどの情報発信力の強化を図る。</p> <p>また、圏域の特産品による新商品開発など、地域ブランド化の取り組みを進める。</p>					
効果	地場産業の強化、経営の安定化を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—	→				
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	—	→				
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

④ 森林保護と木材関連産業の活性化

取組内容	松くい虫など病害虫による森林被害の拡大を防止するとともに、森林資源を活用した産業の活性化を図る。
奥州市・北上市の役割	松くい虫など病害虫の被害状況を共有し、金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携して駆除に努めるなど被害の拡大を防止するとともに、圏域内の企業への原木の安定供給に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	松くい虫など病害虫の被害状況を共有し、奥州市・北上市や関係機関と連携して駆除に努めるなど被害の拡大を防止するとともに、圏域内の企業への原木の安定供給に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	森林病害虫等防除事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	圏域全体において、松くい虫被害に対する集中的・計画的な防除を行う。					
効果	被害拡大を緩和する。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—	→				
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	—	→				
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

⑤ 鳥獣被害対策の推進

取組内容	鳥獣による農業被害を軽減するため、鳥獣被害対策の推進を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、圏域全体の被害軽減に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、圏域全体の被害軽減に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	鳥獣被害対策事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	各市町の猟友会の活動エリアの拡充を推進するとともに、迅速な支援体制を構築する。					
効果	鳥獣による農作物被害の軽減及び担い手の育成を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—	→				
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	—	→				
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

(5) 防災・消防

【協定の内容】

① 消防・救急体制の充実

取組内容	圏域住民の安心、安全を守るため、消防・救急体制の維持、充実を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町と連携し、消防・救急体制の維持に取り組む。また、金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、消防防災無線のデジタル化と広域化、共同化などを推進し、消防・救急体制の充実に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市と連携し、消防・救急体制の維持に取り組む。また、奥州市・北上市や関係機関と連携し、消防防災無線のデジタル化と広域化、共同化などを推進し、消防・救急体制の充実に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	常備消防事業					
関係市町	奥州市、金ケ崎町					
内容	一部事務組合（消防本部）への消防費を負担する。					
効果	地域消防力の向上を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	1,494,786	1,494,786	1,494,786	1,494,786	1,494,786	7,473,930
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	常備消防事業					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	一部事務組合（消防本部）への消防費を負担する。					
効果	地域消防力の向上を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	1,211,916	1,255,699	1,300,236	1,300,236	1,300,236	6,368,323
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【具体的な事業】

事業名	消防施設整備事業					
関係市町	奥州市、金ヶ崎町					
内容	一部事務組合（消防本部）に対して分担金を拠出し、必要な消防施設設備を整備する。					
効果	消防力の更なる向上を図り、市民の安全を確保する。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【協定の内容】

② 防災意識の向上

取組内容	圏域住民の防災意識の向上を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町と連携し、圏域内の自主防災組織の交流会や意見交換会などを開催し、圏域全体で防災意識の向上に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市と連携し、圏域内の自主防災組織の交流会や意見交換会などを開催し、圏域全体で防災意識の向上に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	自主防災組織交流連携事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	各市町の自主防災組織の体制や組織作り、活動等について意見交換を行い交流を深める。					
効果	圏域内での協力、応援体制の構築を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—	→				
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	—	→				
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

(6) その他生活機能の強化に関する取組

【協定の内容】

① 消費生活の安定及び向上

取組内容	圏域住民の消費生活における被害防止と安全を確保し、消費生活の安定及び向上を図る。
奥州市・北上市の役割	消費生活センターを設置するなど、専門知識を有する相談員を配置し、相談業務を行う。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	消費生活センター運営等に必要な経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	消費生活センター運営事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ヶ崎町、西和賀町					
内容	多様化する消費生活問題に対応するため、関係機関と連携し相談業務を行う。(圏域内での情報共有を図る) 〔北上市、西和賀町は消費生活センターを共同設置〕					
効果	消費生活における被害防止と安全を確保し、消費生活の安全及び向上を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額(見込み)を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。)					

【協定の内容】

② ごみ処理、し尿処理体制の充実

取組内容	圏域住民の生活環境向上のため、ごみ処理、し尿処理体制の連携、協力を図る。
奥州市・北上市の役割	圏域住民の生活環境向上のため、ごみ処理、し尿処理を共同で実施し、必要な経費を負担する。
金ケ崎町・西和賀町の役割	圏域住民の生活環境向上のため、ごみ処理、し尿処理を共同で実施し、必要な経費を負担する。

【具体的な事業】

事業名	ごみ及びし尿処理施設整備事業					
関係市町	奥州市、金ケ崎町					
内容	一部事務組合（衛生センター）の管理及び運営に係る費用を負担するとともに、「し尿処理施設DCS更新工事」に係る費用を負担する。 ※DCS＝分散型制御システム					
効果	市民の環境衛生の保持を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	→
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	1,014,478	1,014,478	864,478	864,478	864,478	4,622,390
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。)					

【協定の内容】

③ 自然環境・生活環境の保全

取組内容	圏域の豊かな自然環境や住民の快適な生活環境の保全を図る。
奥州市・北上市の役割	金ヶ崎町・西和賀町と連携し、圏域内を貫流する河川などの自然環境の保全に努めるとともに、水質汚濁や悪臭など、広範に及ぶ環境汚染の防止に取り組む。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市と連携し、圏域内を貫流する河川などの自然環境の保全に努めるとともに、水質汚濁や悪臭など、広範に及ぶ環境汚染の防止に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	和賀川の清流を守る会負担金					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	流域の清掃活動、休廃止鉱山の実態調査、河川愛護活動への支援、自然探索会などを実施					
効果	和賀川の環境汚染を防止し流域住民の健康的な生活を守る					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	—————→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	70	70	70	70	70	350
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

④ 交通安全・防犯対策の推進

取組内容	圏域住民の安心、安全を守るため、交通安全・防犯対策の推進を図る。
奥州市・北上市の役割	金ヶ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、交通安全や防犯対策の推進に取り組む。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、交通安全や防犯対策の推進に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	北上地区交通安全対策連絡協議会負担金					
関係市町	北上市、西和賀町					
内容	関係市町の交通安全関係団体で構成し、交通安全対策が効果的に実施されるための事業を行う。					
効果	管内住民の交通安全意識の高揚及び交通安全思想の浸透を図り、管内の交通事故を減少させる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	→
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	171	171	171	171	171	855
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

2. 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域公共交通

【協定の内容】

① 地域公共交通の維持・確保

取組内容	圏域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や、多様な交通手段の検討、導入等を図る。
奥州市・北上市の役割	金ヶ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、路線バスの維持・確保と利用促進に取り組むほか、新たな交通手段の検討、導入等に取り組む。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、路線バスの維持・確保と利用促進に取り組むほか、新たな交通手段の検討、導入等に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	地域公共交通の維持・確保事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ヶ崎町、西和賀町					
内容	広域圏によるデマンド交通などのあり方について検討を行う。					
効果	交通弱者に対するバス（デマンド含む）による医療機関等への広域公共交通手段の確保を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

(2) 公共施設の相互利用

【協定の内容】

① 公共施設の相互利用

取組内容	圏域住民のスポーツ活動や学習活動、文化活動等の活性化を図るため、体育施設や図書館、文化施設など、圏域内の公共施設の有効活用、充実に努め、相互利用の促進を図る。
奥州市・北上市の役割	公共施設の有効活用、充実に努め、相互利用が可能な公共施設の情報共有し、金ヶ崎町・西和賀町と連携して相互の住民の利用促進に取り組む。
金ヶ崎町・西和賀町の役割	公共施設の有効活用、充実に努め、相互利用が可能な公共施設の情報共有し、奥州市・北上市と連携して相互の住民の利用促進に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	図書館相互利用事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ヶ崎町、西和賀町					
内容	圏域の住民が各市町の図書館から図書の貸し出しを受けられる体制を整え、加えて図書資料の充実に努める。					
効果	相互利用・貸出により住民の利便性向上と生涯学習の充実に努める。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	→
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	21,011	24,217	24,217	24,217	24,217	117,879
活用を想定する補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 (新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。)					

(3) 地域内外の住民との交流促進

【協定の内容】

① 圏域内の住民交流促進

取組内容	イベント情報を相互に共有し、住民相互が参加することにより、圏域住民の交流促進と圏域の活性化を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町と連携し、各種イベントに関する情報を共有し、住民の参加を促し、相互交流の促進に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市と連携し、各種イベントに関する情報を共有し、住民の参加を促し、相互交流の促進に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	圏域内イベント情報発信事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	圏域市町で行われる各種イベントの情報共有を図り、広く住民に周知するなどPR活動を行う。					
効果	圏域への集客を図るとともに圏域市町からの多重情報発信により圏域の魅力を高める。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する 補助制度等						
特記事項	※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。 ※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）					

【協定の内容】

② 圏域外住民との交流促進

取組内容	圏域外の住民との交流機会を創出して圏域の活性化を図るとともに、移住、定住促進に向けた環境整備を図る。
奥州市・北上市の役割	金ケ崎町・西和賀町や関係機関と連携し、グリーン・ツーリズムやスポーツ・ツーリズムといった交流機会を創出するほか、移住、定住促進に向けた環境整備と情報発信に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	奥州市・北上市や関係機関と連携し、グリーン・ツーリズムやスポーツ・ツーリズムといった交流機会を創出するほか、移住、定住促進に向けた環境整備と情報発信に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	定住・移住促進事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	I・U・Jターンなどの移住希望者に対する相談窓口を共同で設置し、運営を行う。また、定住に向けた相談・支援業務を行う。					
効果	定住・移住人口の増加					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【具体的な事業】

事業名	地域企業社会貢献活動事業費補助金					
関係市町	北上市、金ケ崎町					
内容	地域企業による広域での住民交流を促進し、地域振興を図るため、地域における全国規模の社会貢献活動に取り組む事業者に対して補助金を交付する。					
効果	交流人口の増加					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			—————→			
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			1,000	1,000	1,000	
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。 （新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

3. 圏域マネジメント能力の強化

(1) 人材育成

【協定の内容】

① 職員の合同研修

取組内容	圏域市町職員の資質の向上とネットワークを強化するため、合同研修の開催などにより人事交流を図る。
奥州市・北上市の役割	職員研修に関する情報を共有し、乙と連携して合同で研修を開催するなど、効率的な研修を実施するとともに、受講機会の充実に取り組む。
金ケ崎町・西和賀町の役割	職員研修に関する情報を共有し、甲と連携して合同で研修を開催するなど、効率的な研修を実施するとともに、受講機会の充実に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	職員の合同研修事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	圏域市町職員の資質の向上と職員間のネットワークを強化するため、合同研修を開催する。					
効果	スケールメリットを活かした効率的な研修の実施、職員の資質向上及び人事交流を図る。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			→			
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
			→			
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

【協定の内容】

② 外部人材の招へい

取組内容	圏域が抱える課題解決や圏域の活性化を推進するため、専門的知識を有する外部人材を招へいする。
奥州市・北上市の役割	圏域が抱える課題などを共有し、金ケ崎町・西和賀町と連携して専門的知識を有する外部人材を招へいする。
金ケ崎町・西和賀町の役割	圏域が抱える課題などを共有し、奥州市・北上市と連携して専門的知識を有する外部人材を招へいする。

【具体的な事業】

事業名	外部人材の確保事業					
関係市町	奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町					
内容	農業の6次産業化の推進、食をテーマとした地域振興、移住定住支援などによるまちづくりを展開するため、専門的知識を有する人材を活用する。					
効果	専門的知識を有する人材を活用することにより、圏域内における人材の育成が図られる。					
事業計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	→					
事業費 (千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
	→					
活用を想定する補助制度等						
特記事項	<p>※事業費は現時点における関係市町の合計額（見込み）を記載しており、詳細は、毎年度の予算により定める。</p> <p>※なお、事業費が明確でないものについては、「→」を記載している。（新たな事業費が生じた場合は、毎年度の予算により定める。）</p>					

4. 重要業績評価指標

○将来人口目標

	H27(現状)	H32(2020年)	H37(2025年)
奥州市	119,422	112,682	107,169
北上市	93,704	93,170	91,798
金ヶ崎町	15,895	15,700	15,300
西和賀町	5,880	5,556	5,166
合計	234,901	227,108	219,433

大項目	分野	取組項目	KPI	現状値		目標値		ビジョン掲載の具体的事業	
				H27.3	H32.3	No	事業名		
1	(1) 医療	①地域医療体制の充実	休日当番医院/歯科医院の診療日数				1	休日診療所事業	
							2	小児夜間診療所運営事業	
							3	病院群輪番制病院運営事業	
							4	岩手中部地域病院群輪番制	
	(2) 福祉	①子育て支援サービスの充実	待機児童数				5	私立・公立保育園保育実施事業	
							6	私立・公立認定こども園、幼稚園施設型給付事業	
		②認定審査会業務の連携	要介護認定率					7	介護認定審査会事業
								8	介護認定審査会事業
								9	障がい支援区分認定審査会事業
								10	障がい支援区分認定審査会事業
	(3) 教育	①生涯学習機会の充実	出前講座参加者数				11	出前講座の広域化事業	
	(4) 産業振興	①産業の活性化	工業製造品出荷額等				12	雇用対策事業	
							13	胆江地区勤労者福祉サービスセンター運営事業	
							14	北上地区勤労者福祉サービスセンター運営事業	
							15	工業匠祭事業費補助金	
							16	広域観光振興事業	
		②広域観光の推進	年間観光客数					17	北上・西和賀観光連絡協議会負担金
								18	農業経営6次産業化支援事業
								19	森林病害虫等防除事業
								20	鳥獣被害対策事業
21								常備消防事業	
(5) 防災・消防	①消防・救急体制の充実	消防団員充足率				22	常備消防事業		
						23	消防施設整備事業		
						24	自主防災組織交流連携事業		
(6) その他生活機能の強化に関する取組	①消費生活の安定及び向上	消費生活相談件数				25	消費生活センター運営事業		
						26	ごみ及びし尿処理施設整備事業		
	②ごみ処理、し尿処理体制の充実	1人1日当たりのごみ排出量(家庭系ごみ)					27	和賀川の清流を守る会負担金	
							28	北上地区交通安全対策連絡協議会負担金	
	③自然環境・生活環境の保全	和賀川・胆沢川・北上川のBOD値					29	地域公共交通の維持・確保事業	
							30	図書館相互利用事業	
④交通安全・防犯対策の推進	交通事故(人身)発生件数 刑法犯発生件数					31	圏域内イベント情報発信事業		
						32	定住・移住促進事業		
2	(1) 地域公共交通	①地域公共交通の維持・確保	コミュニティバス(田園バス)利用者数				33	地域企業社会貢献活動事業費補助金	
							33	外部人材の確保事業	
(3) 公共施設の相互利用	①公共施設の相互利用	自市町以外への貸出冊数							
(4) 地域内外の住民との交流	①圏域内の住民交流促進	圏域内のイベント参加者数							
②圏域外住民との交流促進	定住・移住イベント参加者数								
3	(1) 人材育成	①職員の合同研修	合同研修の実施回数						
③外部人材の招へい	外部人材招へい件数								

※目標値等については、平成29年度中に設定予定